

Kakihara
Metallizing Artifacts



主力商品 樹脂表面処理製品

- 本社所在地：広島県福山市
- 事業概要：自動車・電子情報機器・農機具・住宅機器・アミューズメント機器に供する樹脂射出成形金型製作、樹脂部品製造、金属表面処理・樹脂表面処理、及び組立
- 常時使用する従業員：377名
(グループ全体：2025年4月期)
- 現在の売上高：45億円
(グループ全体：2025年4月期)
- 法人番号：1240001030228
- Web：https://www.kakihara.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
柿原邦博

あらゆる新素材をメタライジングで高付加価値化

柿原工業株式会社は、創業以来、めっき技術を中心として事業を拡大し、現在では金型設計製作・射出成形・樹脂めっき・塗装・印刷・組立までの一貫生産体制を確立しています。デザイン性に富んだ高品質・高機能な製品を低コスト・短納期で主として自動車業界のお客様にお届けし高い評価を得ています。SDGs・脱炭素経営にも一早く取り組み、環境配慮型ものづくりを実践し、また、海外展開の先駆けとしてタイ王国にも子会社を設立しました。直近ではBtoC事業向けオリジナル商品の開発にも着手し、専用サイト販売で好評価を得ています。これからも独自技術に更に磨きをかけ、関連性を持つあらゆる新分野・新事業に挑戦していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

現在、柿原工業株式会社・タイ子会社Siam Kakihara CO.Ltd.のグループ全体売上高は44億円。
工場新設、設備投資、新事業・新分野への挑戦、生産性向上、M&A等により事業拡大を実施。
年率9%程度の成長で、2035年にグループ全体売上高100億円達成を目指す。

課題

- ・売上高に占める自動車割合が高く他業界の売上が少ない。
- ・化学物質規制・脱炭素・リサイクル等の環境規制への対応必要。
- ・建屋・設備老朽化および工場拡張スペースが限られる。
- ・少子高齢化による人手不足により人材確保が困難。
- ・世代交代、技術・技能の伝承。
- ・物価高騰に伴う価格転嫁が不十分。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

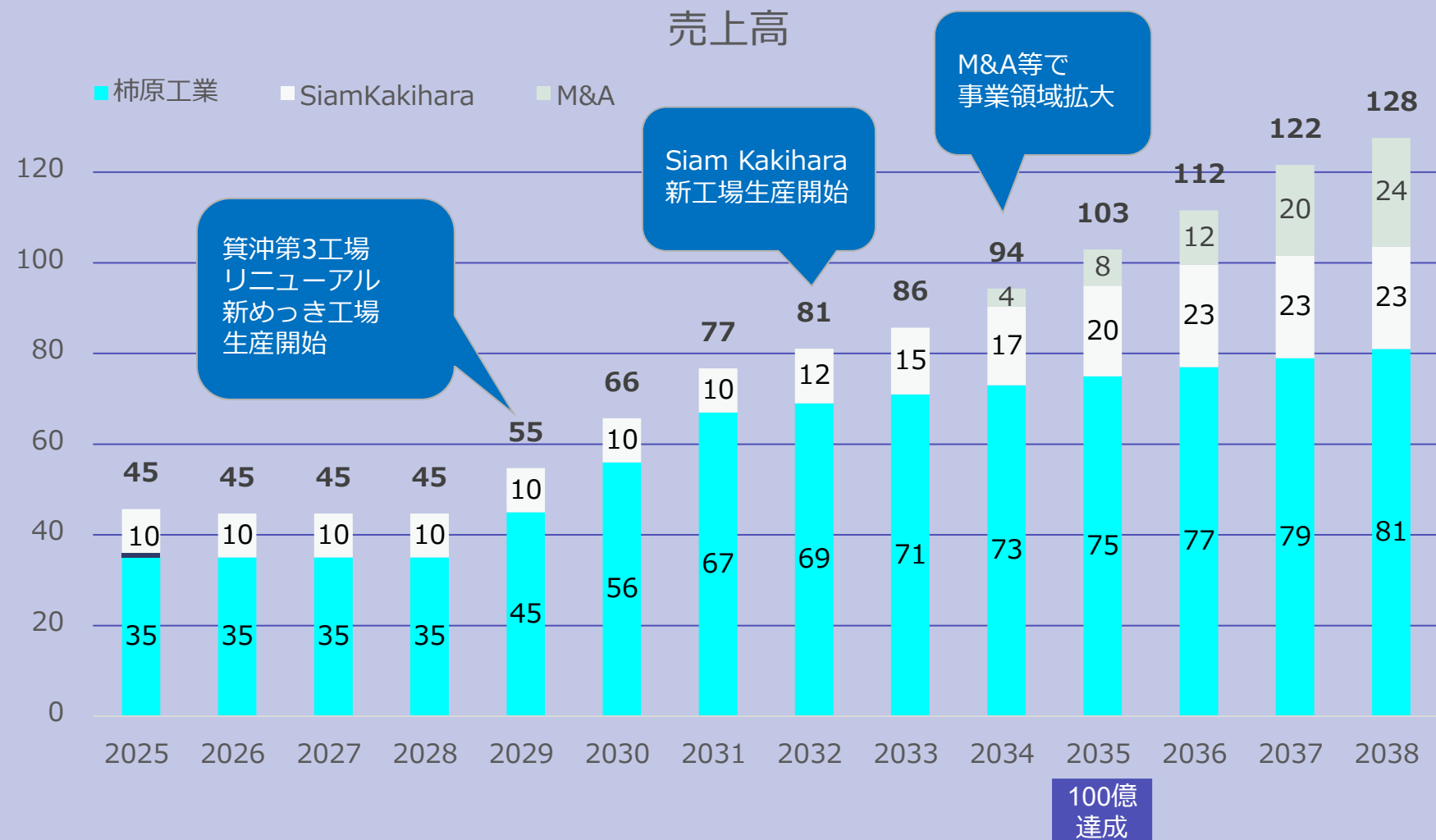
目指す成長手段

- 積極的な設備投資
 - ・箕沖第3工場をリニューアルし新めっき工場建設
 - ・塗装設備の生産能力増強
 - ・AI・DX・ロボット活用スマートファクトリーの構築
- 新事業・新分野の新商品開発と販路拡大
 - ・BtoC事業強化
 - ・自動車以外の業界への販路開拓
- グローバル展開強化
 - ・タイ拠点に新工場を建設しASEAN諸国へ販売拡大

実施体制

- 100億企業対応の実施体制強化
 - ・外部専門家を活用した社内生産体制の改革
 - ・BtoCプロジェクトチームの発足とEC販売促進体制の強化
- 高度な人材育成
 - ・生成AI活用グループ発足、DX人材育成による業務効率向上。
 - ・タイ拠点と連携したグローバル人材育成
 - ・塗装技能者の人材増強
- M&Aや産学官連携で相乗効果を生み出す。

売上高100億円実現に向けた目標



柿原工業株式会社
(現状売上高35億円)

タイ拠点
Siam Kakiwara Co.,Ltd.
(現状売上高9.7億円)